

**留学先国名** : アメリカ合衆国

**留学先学校名** : ミラズビル大学

**留学期間** : 平成 27 年 1 月 13 日 ~ 平成 27 年 12 月 23 日

初めに、留学中の生活についてです。私は、アメリカのペンシルバニア州にある、ミラズビル大学に、交換留学生として 2015 年 1 月から 12 月末まで留学していました。日本人留学生は、私を含めて 2 人でした。語学留学とは違い、英語を学ぶのではなく、現地の生徒を対象とした授業を履修していました。授業期間中は学内の寮に住み、約 4 か月の夏季休暇中は、ヨーロッパへ旅行に行ったり、インターナショナルハウスという、シェアハウスのような一軒家に色々な国の人たちと住んだりしていました。

このような環境下での留学生活を通して、私は、英語が自分の言葉になったと思います。アメリカへ行った当初は、話しかけられても相手の言っていることがわからなければ、自分が言いたいこともろくに言えませんでした。初めの 1 週間くらいは、何をすることも新しいことばかりだったので、その楽しさで乗り切ったような感じでした。ですが、授業が始まると、内容を理解し、自分の意見を言わないといけないという現実があり、自分が想像していたよりもハードで、毎日のように恥をかいて、辛い思いをしました。そして、いつしか英語を聞くことも話すことも嫌になっていました。英語は私の母語じゃないし、一生できるようになてならないと、開き直り始めました。ですが、耳が英語に慣れてくると、自分の母語じゃない英語を話す人が、アメリカにはたくさんいることに気が付きました。英語に聞こえない英語、文法があっても伝わらない英語。日本にいるときは、間違っただけで、文法は恥ずかしいと思っていたし、どこか完璧な英語じゃないとカッコ悪いと思いついていたところがありました。ですが、色々な英語があることに気付いたくらいから、私の英語もそのひとつだと思えるようになり、間違えること、わからないことが怖くなくなりました。そこから、堂々と英語を話すようになり、授業や英語の自主勉強にもより積極的に became。毎回の授業で発言するように心掛けたり、友だちや教授となるべく話すようにしたりしました。また、英語で表現できなかったことは、その日のうちに調べて、次は必ず言えるように自分の英語帳を作りました。定期的に、自分の英語は伸びていないと落ち込むこともありましたが、もしかしたら明日は伸びているかもしれないと、前向きに努力を続けました。すると、自分の話の内容がしっかりとできて、意見も聞いてもらえるようになり、気が付けば、授業中にクラスメイトと対等に意見を言い合いながら、プレゼンテーションの用意をしていました。またいつもなら、友だちの輪の中にも、みんながなぜ笑っているのかがわからなくて悲しかったのに、いつしかなんでも言い合える良い友達に囲まれ、一緒に冗談を言いながら笑っていました。いつの間にか、英語が自分の口から自然と出るようになっていて、自分を表現できるもうひとつの言葉になっていることに気が付きました。そして今では、英語を使うことがとても楽しいです。帰国してからもアメリカにいる友だちと毎日のように連絡を取り合っています。

このように、私は 1 年の留学生活を通して、英語に対する壁を乗り越え、自分の言葉にすることができました。困難も多かったですが、最終的には、英語でコミュニケーションをとること、英語で何かを学ぶことを

実現させ、とても充実した留学生活だったと思います。

そして、私は今後、このような貴重な経験を日本の教育現場で活かしたいと考えています。私は、中学校の英語教員を目指しています。教科書で学んだことについて、生徒一人一人がどう思うかを考え、自分の意見を英語で発表できるという環境を作りたいです。そうするためには、私が留学生活で身に着けた、英語に対する考え方や、履修していた授業で学んだことが役に立つと思います。また、私はアメリカでの留学を通して、現地で使われていても、日本の学校では学ばない英語をたくさん知りましたし、日本で教えられた英語が通じないことも経験しました。私はこのようなギャップをなくすために、子どもたちが学んでいる英語が世界ではどのように使われているのかを知る機会を設けたいです。そして、教科書で学んだ英語の基礎を元に、テストのためだけでなく、社会に出てからも活かせる英語を教えたいです。現地で体験したことは、伝聞で得た情報ではないので、生徒たちにも届きやすいと思います。このように、私はアメリカでの経験を、使える英語が身につく授業づくりに活かしたいです。

最後に、これから留学する人へのアドバイスですが、留学中は、限られた特別な時間なので、何事にも一生懸命になる人が多いかと思います。ですが、自分を追い詰めすぎないようにしてほしいです。留学する長さにもよるかと思いますが、長期の場合は特に、自分をほめたり、甘やかしたりする時間を意識的に作って、休憩することも大切だと思います。ひとりで異国へ行って、生活することはとても体力を使うことです。自分と向き合って、周りと比較せず、自分のペースで、自分なりに頑張ってください。

おおさかグローバル奨学金に支えていただき、とても感謝しています。  
ありがとうございました。